

ハーレクイン・ロマンス：恋愛小説から読むアメリカ

尾崎俊介著 平凡社(平凡社新書)
2019.12. 2F 図書 930.29/096

男性にはあまり馴染みがないかもしれませんが、ハーレクイン・ロマンスはカナダ生まれのロマンス小説専門のレーベルです。長身でイケメン、しかもリッチな(わりと性格の悪い)ヒーローと、正義感あふれるものの平凡なヒロインが、諸々の障害を経てハッピーエンドを迎える……どれを手にとって大体同じ筋書きの様式美は、どのようにして生まれたのか？そして時代に応じてどのように変化し、続いてきたのか？男性視点のツッコミも入りつつ、その成り立ちから現在までを、出版界の歴史、ジェンダーなど多様な切り口で紐解いていきます。ロマンス小説の見方が変わる一冊です。

紹介者：近藤



大人気漫画『進撃の巨人』。世界観を楽しむために、「巨人」「神話」「登場人物」などをキーワードとして本を展示しています！



Book Mark

2023.11 vol.166

本に出てくるお菓子が食べたい

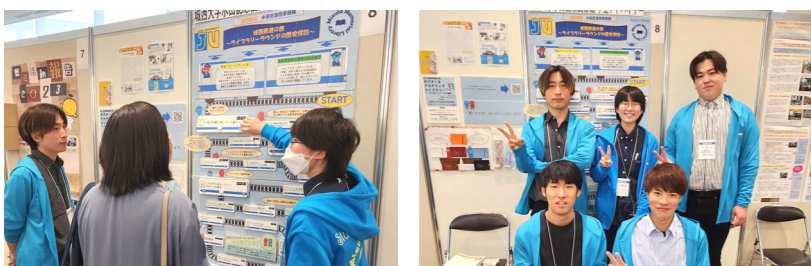
語学教育センター 助教 牟田有紀子

幼い頃から海外の本に出てくるお菓子を食べてみたいと思っていました。私の専門は英語圏児童文学研究なのですが、児童文学には美味しそうなものがたくさん出てきます。例えば私の人生のバイブル『秘密の花園』（フランシス・ホジソン・バーネット作、1911年）では、子どもたちが搾りたてで泡立った濃い牛乳を飲み、ぶどうパンを頬張ります。新鮮で温かい食べ物が、遊びまわってくたびれた子どもたちのお腹を満たす幸せな場面です。主人公のメアリーが朝食に出されるのはお粥です。メアリーが食べたくないと言うと、メイドは糖蜜か砂糖をかけたら美味しいのと言います。それを読んだ中学生の私は「お粥に砂糖!？」と仰天しましたが、調べてみるとそのお粥は「ポリッジ」と呼ばれるオートミールのようなものであることが分かり、それならば甘くして食べることもあるのかもしれないと思いました。後々ポリッジを食べてみて、甘くしたとて美味しくはないと知ったわけですが、他にもナルニア国物語『ライオンと魔女』（C. S. ルイス作、1950年）のターキッシュデライト、『トムは真夜中の庭で』（フィリッパ・ピアス作、1958年）のジャムとクリームに乗ったスコーン、ハリーポッターシリーズの糖蜜タルトなどなど、私の想像力の源は食べ物にあったように思います。

大人になっても児童文学を読んでいるのかと聞かれることがありますが、大人になったからこそ児童文学は楽しいのです。子どもの頃にはできなかったこと、つまり物語の舞台に行ってみたり、本に出てきたお菓子を実際に食べてみたいということができるようになりましたし、幼い頃にはわからなかった物語の面白さに気づくこともたくさんあります。イギリス留学時に本に出てきた食べ物と初めて出会ったときには、子どもの頃の読書の思い出の答え合わせをしたような気持ちになりました。嬉しいことに関東近郊にはイギリスに限らず海外のお菓子や料理を出すお店も増えており、日本にいながら本格的な食を体験できるようになっています。長かった酷暑も終わりましたし、本を読んで美味しい体験に出かけてみるのはいかがでしょう。

紹介された本は図書館で読めます。
『ライオンと魔女』C.S.ルイス作
岩波書店(岩波少年文庫)、研究社(英米児童文学選書)
その他は購入予定です。いずれも11月中はカウンター前で展示します。

図書館総合展にポスターを出展しました



「第25回図書館総合展」にポスターを出展しました(10/24~25)。学部間の交流を目的として、2014年から「ライブラリーラウンジ」というイベントを企画し実施してきました。今回は「城西鉄道の旅～ライブラリーラウンジの歴史探訪～」と題し、これまでの「ライブラリーラウンジ」の歴史をご紹介します。



仲間が増えました



田幡 梨音 薬学部薬学科3年

図書館主催 出版社講演会
出版社の編集という仕事
— 私の場合 —

11/15(水) 3限(オンライン)
講演者 〡 ミネルヴァ書房 編集部 岡崎 麻優子氏

← 詳細はこちらよりご覧ください

第26回 ライブラリーラウンジ 図書館学生アドバイザー企画 全学対象
SDGs体験学習
～カードゲームから学ぶ私たちの未来～

SDGs…2030年までに達成すべき環境・経済・社会に関する17の目標……“私(僕)には関係ないや”、“知らなくても大丈夫”と思いませんか？
SDGsの必要性をゲームを通して楽しみながら理解し、私たちの世界をより良いものにしましょう!!

講師：志田 崇准教授 (経営学部)

日時：2023年11月29日(水)
3限(13:45～15:30)

場所：図書館7階

参加してくれた学生にはオリジナルトートバッグをプレゼント!!

面接で差がつく 就活に役立つ最強ツール
オンライン Zoom開催

11/17 (Fri) 15:40～17:25 (4限)
企業をより深く理解できる!
東洋経済DCL+eol講習会

詳細はこちらをご覧ください

図書館彙報

9/6・7	大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE) 2023年度版元提案説明会 (ハイブリッド) に参加	10/19	メディカルオンライン講習会 (オンライン)
9/28	JoVE講習会 (オンライン)	10/19	「第10回坂戸市図書館を使った調べる学習コンクール」審査会に出席
10/4	全国大学ビブリオバトル2023ブロック予選 城西大学 (ハイブリッド)	10/24・25	第25回図書館総合展に参加
10/12	医中誌Web講習会 (オンライン)	10/27	日経テレコン・日経BP記事検索サービス講習会 (オンライン)
10/12	「第7回鶴ヶ島図書館を使った調べる学習コンクール」審査会に出席		
10/16-27	ブックハント2023Part II		

■ オープンキャンパス (9/24) 図書館見学者 83名 キーワードラリー参加者42名
■ 図書館見学 (9/25・10/23・25・27) 高校生他120名



「全国大学ビブリオバトル2023 ブロック予選 城西大学」を開催しました! → p.2-3

📅 カレンダーは図書館HPをご覧ください。
🌸 図書館HP <https://libopac.josai.ac.jp/>
🌸 図書館Twitter https://twitter.com/lib_josai

11/20(月)～12/25(月)
卒論応援キャンペーン
オンライン相談もやってるよ <https://bit.ly/3arFqnj>

全国大学 ビブリオバトルブロック予選 城西大学

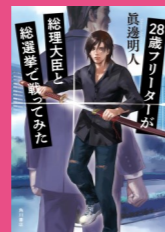
10月4日（水）、図書館7階で「全国大学ビブリオバトル2023 ブロック予選 城西大学」を開催しました。ビブリオバトルとは、制限時間5分間でおすすめの本を紹介しあう書評ゲームです。観客は一番読みたくなった本に投票し、「チャンプ本」を決めます。オンラインでの観戦も可能な形式で開催し、合計53名の方が今年のバトルを見届けました。

今年のバトル7名と発表本を紹介します！！
発表本はすべて図書館にあるので、借りることができますよ♪



どんな本かな？

『28歳フリーターが総理大臣と総選挙で戦ってみた』
眞邊明人著
KADOKAWA
(2階 913.6//Ma43)



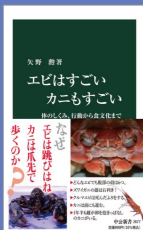
現代政策学部3年 橋田さん

『姉妹都市の挑戦：国際交流は外交を超えるか』
毛受敏浩著 明石書店
(3階 319.1//Me49)



現代政策学部4年 根岸さん

『エビはすごいカニもすごい：体のしくみ、行動から食文化まで』
(中公新書) 矢野勲著
中央公論新社
(1階文庫・新書 485.3//Y58)



理学部数学科2年 川上さん

『野ブタ。をプロデュース』
白岩玄著 河出書房新社
(2階 913.6//Sh82)



現代政策学部2年 栗原さん

『ホモ・デウス：テクノロジーとサピエンスの未来(上・下)』
ユヴァル・ノア・ハラリ著；柴田裕之訳
河出書房新社
(3階 209//H32//1・2)



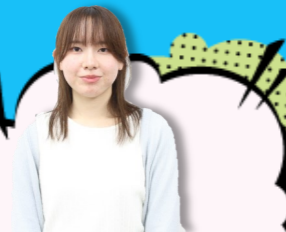
経営学部2年 幡谷さん

『武蔵野』
(岩波文庫) 国木田独步作
岩波書店
(1階文庫・新書 913.6//Ku44)



現代政策学部2年 佐藤さん

『ひとりの時間が僕を救う = paka's alone time』
パーカー著
KADOKAWA
(2階 914.6//P16)



現代政策学部2年 小林さん

今年も熱い戦いが繰り広げられました！当日の様子は城西大学水田記念図書館公式YouTubeチャンネルにUPしています！

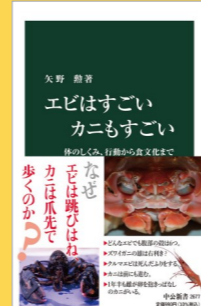


ぜひご覧ください！

チャンプ本

エビはすごいカニもすごい 体のしくみ、行動から食文化まで

矢野勲著 (中公新書) 中央公論新社



学生アドバイザーがインタビューしました



今のお気持ちは？

とても嬉しいです。本番前はうまく発表できるか不安でしたが、練習の成果を出し切ることができて、良かったです。昨年の全国大学ビブリオバトル2022ブロック予選城西大学では準チャンプだったので、その雪辱が果たせて、その分も嬉しかったです。

今回の発表本を選んだ理由は何ですか？

昨年、私はエビアレルギーが発覚しました。好きな食べ物だったエビが急に食べられなくなり、悲しかったです。そんな時にエビの生態に迫りたいと思い、この本と出会いました。新書には抵抗がありましたが、作者の矢野さんの表現は美しく、「文章オタク」の私にとって、とても読みやすく、また勉強にもなる一冊です。

地区決戦への意気込みをお願いします。

今回の反省点である、話すスピードに気を付け、さらに「この本を通じて、私に本当に伝えたいことは何なのか」をもう一度整理して、地区決戦に臨みたいです。そして、全国大学ビブリオバトル2023本選に進めるように、全力を尽くして、頑張ります！



理学部数学科2年 川上さん

今のお気持ちは？

思い通りにいなくて大変でしたが、嬉しいです。まさか準チャンプになるなんて思いませんでした。

今回の発表本を選んだ理由は何ですか？

元々歴史とバトル本の作者が好きでした。『サピエンス全史』という本の未来版が今回のバトル本なのですが、読んでいくうちに自分が今できることは何だろうか、と考えるのがきっかけでこの本を選びました。

ビブリオバトルに出場するにあたり、努力したことや苦労したことはなんですか？

本が好きだったこともそうですが、石倉先生からの紹介で出場しました。出場するにあたってビブリオバトルそのものを調べて準備をしたのですが、他の出場者との格の違いを見せられた気がします。準備では聞いてくださる方が興味を持ってくれるような工夫の仕方を調べたり、本の内容を改めて纏めたりしたのですが、どちらか一方に偏ってしまったり、発表練習で硬い表現になってしまったり……。全てにおいて纏めるのが大変でした。

準チャンプ本

ホモ・デウス

テクノロジーとサピエンスの未来(上・下)

ユヴァル・ノア・ハラリ著；柴田裕之訳
河出書房新社



経営学部2年 幡谷さん

学生アドバイザー開催後記

今回のビブリオバトルでは、昨年より多くのバトル者が出場し、様々な本が紹介されました。題名を聞いたことがある本が殆んどで、さらに興味が深まりました。当初アドバイザーとして参加していましたが、途中から観戦者として聞き入ってしまうほどでした。ビブリオバトルは自ら手に取らないような本を知る良い機会だと再認識しました。

永倉 未来 (薬学部薬学科6年)



今年も学生アドバイザーが
司会と補佐を務めました！

